

みんなのとりくみけつ か		チェック!!		いつもの日と比べて多くの人が 取り組めたのは…		1	
				いちばん 一番CO ₂ を減らせたのは…		1	
エコな行動	1日で減らせる CO ₂ の量	と 取り組んだ人数の割合		いつもの日	エコライフデー	いつもの日より 減らせたCO ₂ の量	
1 そうじき 掃除機をかける前に部屋を片付けよう	74g	62%	+14	76%	200kg		
2 お風呂に入るときは、シャワーを 出したままにせず、こまめに止めよう	85g	80%	+10	90%	170kg		
3 冷蔵庫を開けたままや、必要のない 開け閉めはしないようにしましょう	20g	86%	+7	93%	30kg		
4 ごはんは、残さずに食べよう	88g	81%	+9	90%	160kg		
5 お家の人と一緒に、テレビの明るさを 暗めの設定にしよう	33g	46%	+13	59%	80kg		
6 使わない部屋の電気を消そう	24g	81%	+10	91%	40kg		
7 出かけるときは マイボトル(水筒)を持ち歩こう	105g	74%	+8	82%	160kg		
ごうけい 合計		しょうすうてんい 小数点以下を四捨五入しているため、 ごうけいち 合計値が一致しないことがあります。		73%	+10	83%	840kg

✓ エコライフチェックとは？

エコライフチェックとは、エコライフデー(自分で設定するエコな行動に取り組む日)を決めて、「いつもの日」と「エコライフデー」の行動を比べてチェックすることで、エコライフの効果を確認する取組です。

このエコライフチェックレポートは、みんなのがんばりがCO₂の削減にどのくらい効果があったかを数字で表し、今後もエコライフを続けてもらうために作成しています。



お問い合わせ

練馬区 環境部 環境課 地球温暖化対策係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6-12-1
TEL: 03(5984)4705 FAX: 03(5984)1227
e-mail: KANKYOU03@city.nerima.tokyo.jp

※この事業は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの助成を受けて実施しています。
※この印刷物は、再生紙を使用しています。

エコライフチェックの
とりくみけつ か
取組結果

おとな
大人の取組結果も
みられるよ!!

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

エコライフ 2024 チェックレポート

ストップ! 地球温暖化 ねりま大作戦2024

1 大作戦の成果

さんか
参加した人数

21,278人

今年参加者は約2万1千人でした。
このうち、小学生は12,309人、中学生は7,611人
参加してくれました!

2 大作戦の成果

エコライフデー1日で減らせたCO₂の量

いつもの日とくらべて

1,080kg

同じ量のCO₂を吸収するには、
ケヤキの木が約3,860本必要です。
※幹回り約90cmのケヤキ1本のCO₂吸収量1日あたり0.28kgとして計算
しています。
(出典)国土交通省国土技術政策総合研究所「都市緑化樹木の固定量の算出」

みんなの行動で、「温暖化」が弱っているよ!

これからの地球を「温暖化」から守るためには、みんながエコライフデーに取り組んだことを続けて、CO₂を増やさないことが大切なんだ!

家族やお友達と協力して取り組んでいこう!!

温暖化とプラスチック

「温暖化」が力をつけた原因は、私たちの生活によって発生するCO₂などの温室効果ガスが原因とされているんだ。

CO₂は、特に電気を作るために石炭や石油などの化石燃料を燃やすことで多く発生しているんだけど、実は「プラスチック」も石油から作られているから、プラスチックをごみとして燃やすことで多くのCO₂を出しているんだよ。

他にも、ポイ捨てされたプラスチックごみが海に流れ着き、海が汚れてしまっていることも問題になっているんだ。

軽くて丈夫で使いやすい、私たちの生活にとっても便利なプラスチックだけど、いろいろな問題が起こっているんだよ。

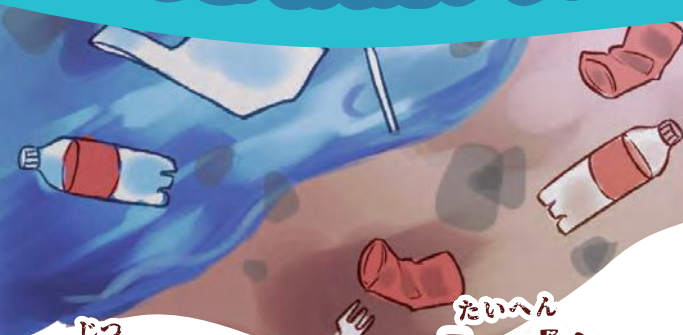
日本は、お菓子などのプラスチックでできている包装ごみを捨てる1人あたりの量が世界で2番目に多いんだよ。
(出展)環境省「プラスチックを取り巻く国内外の状況」

プラスチックとの関わり方も考えないといけないなあ……。

うら 裏へつづく…

プラスチックについて考えてみよう

みんな「海洋プラスチックごみ」って知ってる？



街のなかに落ちていたり、ゴミやポイ捨てされたごみは、風に飛ばされたり、雨に流されたりして川に入り、最後は海に流れついてしまうんだ。海に流れついたごみは海底に沈んでたまったり、海をただよひ浮いたりしているよ。海にはみんなに身近なお菓子の包装ごみやペットボトルなど、プラスチック製のごみがたくさんあるんだ。

実は、とっても大変なことが……

大変なこと その1

ウミガメがプラスチックごみをエサのクラゲと間違えて飲み込んだり、ごみが海の生きものの体からまったりして死んでしまうことがあるよ。

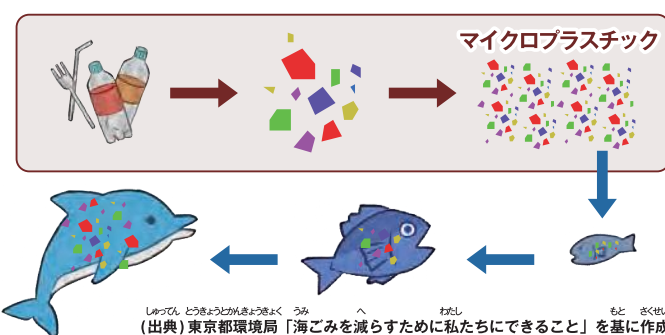
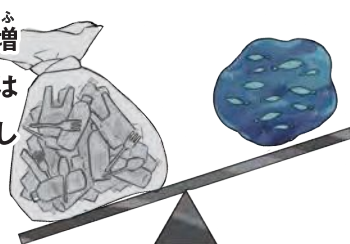


大変なこと その2

波の力や太陽からの紫外線により小さくなった5mm以下のマイクロプラスチックは、回収が難しく、自然にはほとんどなくなるから長い間、海をただようんだ。それを魚や鳥などがエサと間違えて食べてしまうことが多いんだ。

大変なこと その3

海洋プラスチックごみが増え続けると、2050年には海にすむ魚の量を超えてしまうと言われているよ。



このままだと、海がプラスチックごみでいっぱいになっちゃうし、生きものも大変なことになっちゃう!!



みんなにできることはこんなにあるんだ!! おとなと一緒にやってみよう!!



みんなができること「3R」

1 Reduce リデュース

ごみを減らそう!!



余分な包装は断る



ものを最後まで大切に使う



マイバッグで買い物する



使い捨てプラスチックをもらわない

2 Reuse リユース

くり返し使おう!!



何度も使えるものをリユース



リサイクルショップ等をリユース



必要としている人に譲る

3 Recycle リサイクル

もう一度資源として生かして使おう!!



リサイクルマークがついた商品を選ぶ

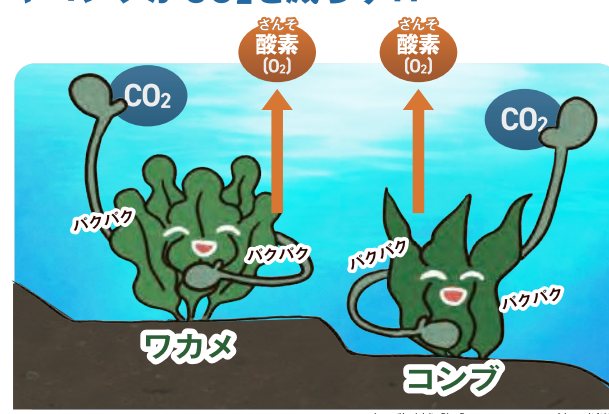


きちんと分別して資源として出す

海の森「ブルーカーボン」

～ ワカメやコンブがCO2を減らす!? ～

実は海もCO2を吸っていて、その量は森林などのみどりよりも多いんだ。空気中のCO2が海水に溶け込むと、海の植物（海藻など）が吸ったり貯めたりしてくれているよ。でも、日本近海における海の植物が生えている面積は、ここ30年で約半分に減っているんだ。海は、CO2を吸ったり貯めたりするほかにも、生きもののすみかになったり、水をきれいにしてくれたり、レジャーなど私たちにたくさんの恵みをもたらしてくれるから大切に守っていかなければならないんだ。



「3R」は順番が大切!!

①リデュース → ②リユース → ③リサイクルの3Rは順番が大切なんだ。まず、ごみとなるものを減らす(リデュース)からはじめて、次に使えるものは何回もくり返し使う(リユース)、そして使えなくなったらごみではなく資源として再生利用(リサイクル)をするんだ。